

令和5年度 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）

精神科医療機関における行動制限最小化の普及に 資する研究（23GC1014）

令和5（2023）～6（2024）年度

研究代表者 杉山直也

■国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部 客員研究員

■公益財団法人 復康会 理事長 沼津中央病院 院長

■一般社団法人 日本精神科救急学会 理事長

■横浜市立大学 精神医学 客員教授

研究分担者 吉川隆博

■東海大学医学部看護学科精神看護学領域 教授

■一般社団法人 日本精神科看護協会 会長

研究分担者 三宅美智

■国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 公共精神健康医療研究部 リサーチフェロー

研究の背景①

- 行動制限に関連する要因として、

- 急性期シフト
- 高齢者ニーズの増加
- 医療管理技術の発展に伴う変化
- 医療安全に対する意識の高まり

「治療文化」 の变革がカギ

根拠

- コアストラテジー
- R4推進事業
- 臨床実感
- 厚労科研

等が示唆されている。

研究の背景②

最小化方策は判明しているが

- ①実装のための基礎的準備
- ②有用な普及手段の整備

がない！！

行動制限最小化のための総合的対策を講じるに当たっての視点

ヒアリングを踏まえ、行動制限最小化を推進するための総合的対策を講じるに当たっては、医療従事者、当事者、行政等の関係者が同じ目標を見据え相互支援のもと行動制限最小化に取り組むことを前提としたうえで、次のような視点が重要ではないか。

患者の視点に立ったケアの推進

- 隔離・身体的拘束を経験した患者を含む当事者の声の発信
- 患者と医療従事者間の信頼関係に基づく日常的なコミュニケーションの促進

病院ぐるみでの取組に向けた動機付け

- 病院の管理者等を対象とした研修機会の提供等による普及啓発
- 行動制限最小化を大きく進めるイメージを持つ

医療従事者間のコミュニケーションの促進

- 行動制限最小化に対する医療従事者間の意識合わせの機会の設定

行動制限最小化のためのノウハウやスキルの普及

- 病院ぐるみで行う行動制限最小化の手法の普及
- 見守りや患者さんへの接し方のスキルの普及

コア・ストラテジー

国際的実績あり

戦略1

- 組織改革に向けてのリーダーシップ

戦略2

- データ利用

戦略3

- スタッフのスキルアップ

戦略4

- 隔離・身体拘束使用防止ツールの利用

戦略5

- 入院環境での利用者の役割

戦略6

- デブリーフィング技術

基礎理論1

神話的通念
と思い込み

基礎理論2

公衆衛生学
の考えに基づいた予防
モデル

基礎理論3

トラウマイ
ンフォーム
ド・ケア

基礎理論4

精神保健に
おけるリカ
バリーモデ
ル

Huckshorn KA: Reducing Seclusion & Restraint Use in Mental Health Settings, Core Strategies for Prevention. J Psychosocial Nursing 42: 22-33

看護視点
の不足

わが国に
馴染みにくい

研究の目標と求められる成果

(1) 目標

- 行動制限を大幅に減少させた取組を普及させる
- 行動制限最小化の総合的推進を行うための方策を検討する

(2) 求められる成果

- ピアレビュー方法の開発（前例なし）

研究協力機関

- 公益社団法人 日本精神科病院協会
- 一般社団法人 日本精神科看護協会
- 全国「精神病」者集団
- 公益社団法人 全国精神保健福祉会
- 地方公共団体（川崎市）
- 一般社団法人 TICC（トラウマインフォームドケア/コミュニティ）
- 一般社団法人 日本精神科救急学会

手順の開発

国内外の知見

試行

最小化に積極的な医療機関

効果・影響の評価・修正

最小化に積極的な医療機関

資材作成

根拠の特定

国内外の知見

大幅に減少させた例

集約と整理

最小化を効果的に推進するためのマネジメント方法等の明確化

最終成果物

代替方法

普及のための利用しやすい資材

行動制限最小化のための病院間ピアレビュー手順の開発

- 海外で開発されたCSに関するアクションツールをもとに、R4推進事業で集約された「我が国で有用な4視点」を用いて整理しなおし、行動制限に必要な事項を網羅できるように、チェックリスト、解説集、手順書を開発した。
- 8月中に実際の2医療機関で試行予定

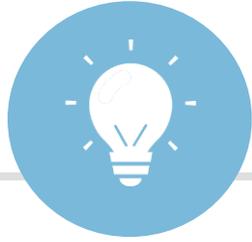


4視点 (R4推進事業)

1. 病院・組織をあげての取組
2. 職員のスキル向上
3. 院内コミュニケーション円滑化
4. 患者本位のケア

進捗

取組事例の精査と事例資材の作成



予防的ケアの工夫

C病院

不調になる前の段階からの関わり

- 感覚プロフィールの実施
- 代替法(道具)の選定と活用
- 自己コントロール法の獲得

〔 行動制限回避 〕

〔 患者の安心感 〕

〔 成功体験 〕

ボトムアップによるチャレンジ



患者様共有シート

D病院

早期解除に向けた隔離・拘束パス



患者参画型看護計画

E病院

患者と看護師の「協同」主義

〔 パートナーシップ 〕

〔 目標の共有 〕

〔 脱問題志向 〕

変革型リーダーシップ



患者対応スキル

F病院

* 今後、調査予定



拘束しない看護・介護

G病院

* 今後、調査予定

知識・理論の活用

時代・社会ニーズが求める理念・理論を取り入れた変革



全人医療の基本方針

A病院

- 行動制限という発想を持たない
- 症状を問題行動と受け止めない

治療文化

開放的医療の実践

- リスクを恐れない風土の醸成
- 患者に寄り添う基本姿勢



B病院

行動制限最小化に資する教育資材の作成

テーマ

コンテンツ

進捗状況

基礎編

精神保健福祉法



音声付き研修用スライド（ワークシート付き）



データ利用



音声付き研修用スライド（ワークシート付き）



理論編

トラウマインフォームドケア



動画（15分以内、ワークシート付き）



リカバリー



動画（15分以内、ワークシート付き）



戦略編

コア・ストラテジー



音声付き研修用スライド（ワークシート付き）



実践編

ディエスカレーション



音声つき研修用スライド（ワークシート付き）
携帯ハンドブック



代替法



音声付き研修用スライド（ワークシート付き）
テキスト（代替方法の具体例を示す）
携帯ハンドブック



事例編

看護ケアの視点



スライド or ポスター



ガイド

プラットフォームの活用方法



動画

